

さんぽみち

鶴の木地区地域情報紙
平成18年10月1日号 第47号

発行：わがまち大田鶴の木地区推進委員会

編集：鶴の木地区 地域情報紙編集委員会

事務局：鶴の木特別出張所 電話(3750)4241 FAX(3750)2418

住み慣れた地域での生活支援
サービスなどができました

今までの要支援が二段階に分かれ要支援1と要支援2になりました。

この認定を受けた方に対しても状態の改善に向けた介護予防サービスがスタートしました。

また、地域行政センター、高齢者在宅サービスセンター等で転倒予防、栄養改善、認知症予防などの要介護状態にならないための介護予防事業を行いました。

平成十二年に開始された介護保険制度も介者の増加等のため、四月から改正されました。今回は改正の内容についてお伝えします。

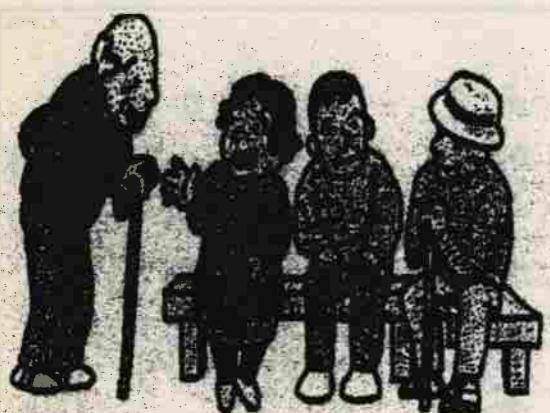
新しい 介護保険がスタート

また、ケアマネージャーの資格の更新制度の導入、研修の義務化等によりケアマネジメントの見直しが図られることとなりま

は、介護予防の中核的役割を担う拠点として、地域包括支援センターに移行し、高齢者の生活を総合的に支援することになりました。

また、住み慣れた地域で生活を続けながら利用できる「夜間対応型訪問介護」「認知症対応

すべてのサービスが公平・公正に行われるよう、介護サービス事業者の情報の公表、指定の更新制度の導入や欠格要件の見直し等が行われることになりましま。



鶴の木特別出張所だより

優勝、準優勝おめでとう！」といます。

二月二十一日(月)から三日間は
わたって、東調布公園グラウンドで
行われた調布地区少年野球大会の小
学校の部で鶴の木地区が優勝しまし
た。

また、中学校の部でも鶴の木地区
が準優勝となりました。

☆優勝・多摩川ファイターズ（田園調布地区）
☆準優勝・大森第七中学校
★優勝・千鳥ライオンズ
★準優勝・東一キングス（嶺町地区）

おめでとうございます。
（順不同・敬称略）
【地域安全運動功労者 個人賞】

夏の受賞者

おめでひけ」をいいます。

增補安生選重刊行者 個人賞

◆第十四回連合運動会
日時・十月二十二日（日）
場所・大森第七中学校校庭
◆鶴の木の秋！鶴の木地区の連合運動会です。スポーツを通じて、地域の親睦を深めます。
ぜひ、ご参加ください。

◆鶴の木二丁目・三丁目町会防災訓練
日時・十一月五日（日）
場所・嶺町小学校グラウンド

☆新任編集委員紹介（敬称略）
鶴の木二丁目町会 山岸 奈々子

本紙編集委員、水野 敬司様（干 記報）

編集後記

編集後記

編集長 永田 清

【情報紙】に対する意見・ご
などを事務局までお寄せください。
【事務局】鶴の木特別出張所
電話 3750-4241
FAX 3750-2418

| 鶴の木特別出張所管内の人口 | |
|---------------|------------|
| 男 | 10, 714 人 |
| 女 | 11, 405 人 |
| 計 | 22, 119 人 |
| 世帯数 | 11, 362 世帯 |

◆平成18年8月1日現在◆

要介護状態の軽い人はどうなるの?

介護予防サービスを適切に利用すれば、心身の機能の維持・改善が見込める状態へ「要支援1」または「要支援2」と認定された人は、介護保険の介護予防サービスを利用することができます。

一人一人の状態や目標に応じて通所介護、訪問介護などのサービスを利用し、介護が必要な状態になることを予防します。

介護予防サービスの利用について、ケアプラン作成などの相談窓口は、地域包括支援センターです。大田区の介護予防事業が必要となる恐れが高い人については、大田区の介護予防事業を利用できます。

介護予防サービスって何?

また、介護保険の対象にならない状態でも、将来的に介護が必要となる可能性の高い人が自己立した生活を続けるためのサービスです。

通所して利用するサービス

(介護予防通所介護、介護予防

通所リハビリテーションなどがあります。)、訪問を受けて利用するサービス(介護予防訪問看護など)があります。

地域包括支援センターの職員(または、委託先のケアマネジャー)との話し合いで設定した目標を達成するためにケアプランに沿って利用します

サービス利用の流れ
要支援1、要支援2と認定された人と、要介護1～5と認定された人は認定後の利用の流れが異なります。

要支援1・2の方は地域包括支援センターに相談し契約となります。(居宅支援事業所に委託する場合もあります。)

要介護1～5の方は居宅支援事業所(ケアマネージャー)に相談し契約となります。

問合せ・相談窓口
(電話 五七三三一〇二六)

連合運動会

俳句

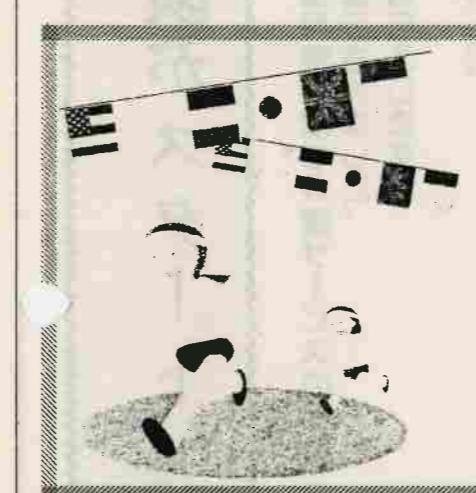
かなかなや
故郷の家
寺の道

黒猫の
よがりて落葉
あるばかり

総門の
内なる秋や
二導院

秋冷や
京の疎水の
赤レンガ

鶴の木三丁目町会
山口 則雄



リレー・エッセー

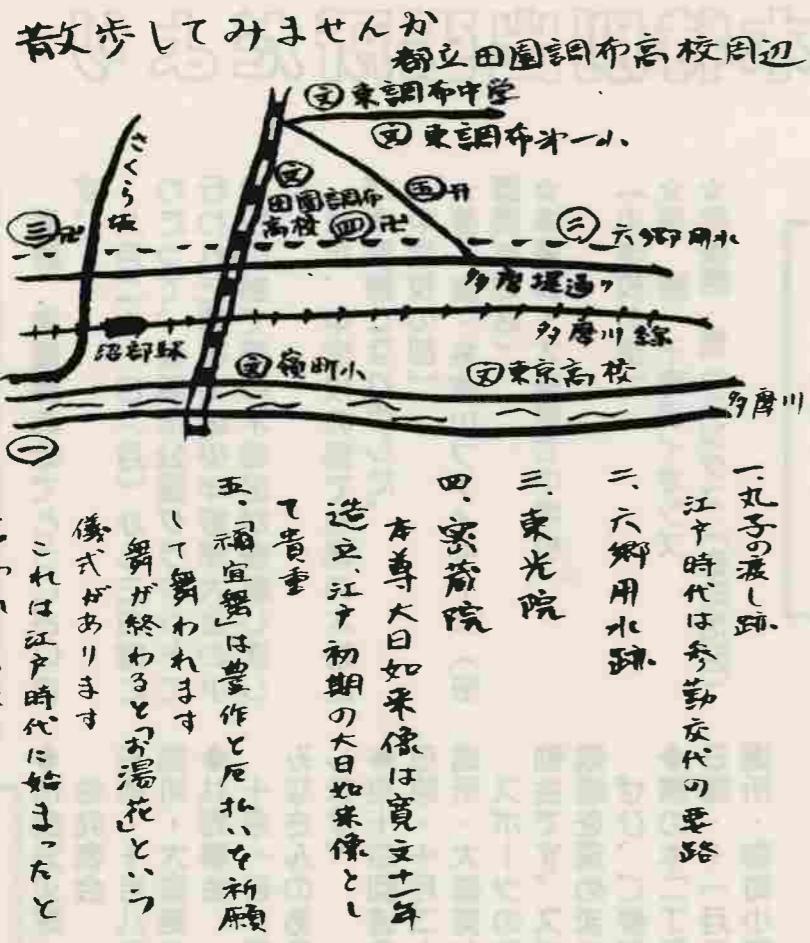
「池上線とタヌキ山」

夢の如く流れゆく人生の長い旅路は懐かしさに溢れて懐ぶばかり、今は遠い昔の昭和七、八年頃沿線を一両で走る池上線に乗つては運転士さんの運転振りを見つめうらやましく、高い鉄橋を右カーブで入る五反田駅のホームへの憧れ。

駅名も当時の旗が岡は今の旗の台、調布大塚駅も今は久が原、慶應グランド前こそ今の千鳥町。東雪谷上池台馬込一帯は果てしない一茫の草原、丘あり谷あり川も池もと起伏に富む丘陵地帯、迷い込めばと不安感に揺れる子供時代、夏の訪ねは一斉に飛び交うトンボ群遊に空を仰ぎ、この楽しみの草原を皆してタヌキ山と呼び。

小さな牧場内ではトロツコをこわごわ押す楽しさ、ギヨロ目の牛がモーと啼く愉しさを偲んでいます。

(千鳥北町会 鈴木正男)



千鳥北町会 岡田 八重子

最寄駅 多摩川線 沼部駅
大田区田園調布南二十七丁目
田園調布高校所在地



これは江戸時代に始まったと
言われています